

次世代の国内クリエイターやアーティストの国際的な活躍を支援する
「文化芸術活動基盤強化基金」
シンボルマークを制定
—公式サイトを 2025 年6月5日(木)にオープン—

独立行政法人日本芸術文化振興会(理事長:長谷川 眞理子)は、文化庁予算により、クリエイター・アーティスト等の育成及び文化施設の高付加価値化のために行う事業を実施することを目的として文化芸術活動基盤強化基金(通称:クリエイター支援基金、英語表記:Japan Creator Support Fund)を設置しています。このたび、本基金のシンボルマークを制定するとともに、公式サイトを 2025 年6月5日(木)にオープンしましたのでお知らせします。

「文化芸術活動基盤強化基金」(クリエイター支援基金)について



文化庁令和5年度補正予算において、クリエイター・アーティスト等の育成及び文化施設の高付加価値化のために行う事業を実施するため、独立行政法人日本芸術文化振興会に「文化芸術活動基盤強化基金」が設置されました。本基金を活用し、令和6年度から「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業」を実施し、42 件の取り組みが採択されました。〈マンガ〉・〈アニメ〉・〈ゲーム〉・〈舞台芸術〉・〈現代アート〉・〈伝統芸能〉といった様々な領域を対象とし、600 人を超える次世代の国内クリエイターやアーティスト等の国際的な活躍を支援していきます。さらに令和6年度補正予算において、「クリエイター等支援事業(育成プログラム構築・実践)」を新たに創設。また、経済産業省令和6年度補正予算において措置された補助金により、「クリエイター・事業者海外展開促進事業(長期制作支援)」が進められます。(本基金による各事業の詳細は別紙をご参照ください)

■ シンボルマークを制定 モチーフは“平面”

“平面”をモチーフとしたシンボルマークを制定しました。幾何学において平面とは、無限遠に広がる平らな面のことです。日本のクリエイター、アーティスト、文化芸術が国境を越え、世界に飛び出す姿をイメージしたデザインコンセプトになっています。平面にはあらゆる方向に無限に広がる力を連想させます。日本を起点にした、新しい創造の広がりを表しています。

また、本基金全体のシンボルマークに加え、4つの支援メニューごとのマークを制定しました。



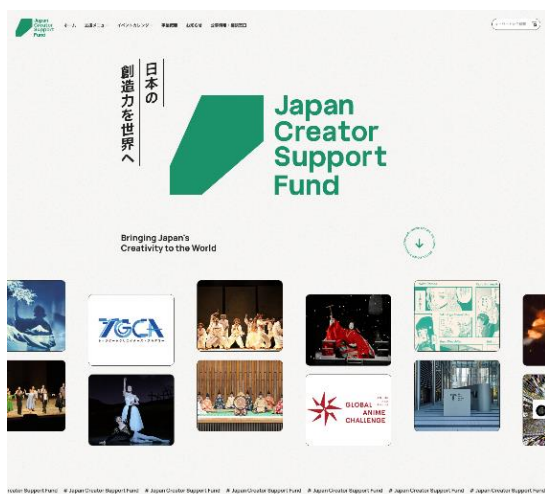
左:クリエイター支援基金事業全体シンボルマーク、右:左上からクリエイター・アーティスト等育成事業[FOR CREATORS]、文化施設による高付加価値化機能強化支援事業[FOR CULTURAL FACILITIES]、クリエイター等支援事業(育成プログラム構築・実践)[FOR CREATOR DEVELOPMENT]、クリエイター・事業者海外展開促進事業(長期制作支援)【経済産業省事業】[FOR ENTERTAINMENT]

■ 公式サイトをオープン

本基金の公式サイトが 2025 年6月5日(木)にオープンしました。本サイトは、基金事業の基本情報から、実施している4つの支援メニューと各採択プロジェクトの紹介、クリエイターに有益な公募情報やガイドラインなどを掲載。また、サイト上で本基金のプロモーション動画を公開しています。今後は各プロジェクトの進捗が分かるよう適宜情報を更新するほか、各プロジェクトが開催している様々な展覧会や公演等の情報をはじめ、イベント情報を公開していく予定です。

公開日:2025 年6月5日(木)

URL :<https://creator.nti.jac.go.jp>



公式サイト トップページ



プロモーション動画(抜粋)

■ 「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業」中間報告会の実施

2025 年6月5日(木)に「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業」の中間報告会を開催しました。採択された 42 の取り組みから8団体が登壇し、活動報告などを行いました。続けて、各分野で活躍する若手クリエイター7名が参加し、ラウンドテーブルを実施。さらに、会のあとには今後の取り組みにつなげるネットワーキングの場とすることを目的とした情報交換会も開きました。なお、中間報告会の模様は後日公式サイトでお伝えします。

日時:2025 年6月5日(木)15:00~18:25

会場:文部科学省3階講堂

■ クリエイター支援基金 各事業内容について

「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業」

1. クリエイター・アーティスト等育成事業（3年・45億円）

若手クリエイター・アーティスト等の挑戦、経験蓄積、ネットワーク形成等を後押しし、新たな芸術の創造など我が国の芸術活動の活性化を促すとともに、ビジネス展開も視野に総合的な人材育成支援を推進します。

過去の公募情報

クリエイター等育成プロジェクト支援（補助型） <https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/kiban/creator/hojo/>

クリエイター等育成プログラム（委託型） <https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/kiban/creator/itaku/>



2. 文化施設による高付加価値化機能強化支援事業（3年・15億円）

博物館や劇場・音楽堂等の文化施設について、グローバルに活躍する若手クリエイター・アーティスト等の育成の一環として、当該若手クリエイター等の「国内における活動の拠点」かつ「活動に対して新たな高い価値を付加する拠点」としての機能形成を推進します。

過去の公募情報 <https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/kiban/bunkashisetsu/>



「クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）」（3年・95億円）

各コンテンツ分野において、クリエイター等の国内外での活躍を促進するため、大学・専門学校等と企業・関係団体等業界が連携し、国際的な活躍を目指す学生や社会人に必要となるスキル等を習得する国際的な場での実践を含めた育成プログラムの構築・実践を弾力的かつ複数年度にわたって支援します。

公募情報 <https://www.ntj.jac.go.jp/topics/kikin/2025/r6bosyu/>



クリエイター・事業者海外展開促進事業（長期制作支援）【経済産業省事業】（2年・25億円）

アニメ、ゲーム等のクリエイター・事業者の海外展開に向けた制作の促進のため、海外展開を念頭にいた映像作品の制作について、企画開発や、高水準な作品のプロダクションへの支援を行い、海外での成約や売上の向上を目指すとともに、制作会社の収益基盤強化を進めます。



—基金事業全般に関するお問い合わせ—

日本芸術文化振興会 基盤強化事業課

TEL:050-1754-5909 / kiban-kikin@ntj.jac.go.jp

—シンボルマーク・公式サイトに関するお問い合わせ—

文化芸術活動基盤強化基金 広報事務局

担当: 広岡、辻 TEL:03-6260-4855 / E-mail:bunka-creator-pr@kyodo-pr.co.jp